



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供するとともに、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者の皆様がより良い医療を受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



平原院長と「YOKOHAMAいいね！制度」受彰者 記事はP4に掲載



第63号 目次

幹部年頭挨拶	1
地域医療連携	3
横浜市泉区医師会会長ご挨拶	
お知らせコーナー	4
いいね！（承認・ほめ・感謝）で 職員のモチベーションを向上しよう ～報奨制度「YOKOHAMAいいね！制度」の取り組み～ シンボルツリーライトアップ	
行事紹介	5
糖尿病フェア	

行事紹介	6
楓葉祭	
クリスマスコンサート	
外来担当医表／編集後記	7

発行 月：平成31年1月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会
 発行責任者：平原 史樹
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：http://www.yokohama-mc.jp



●当院携帯サイトはこちらから

幹部年頭挨拶

病棟診療部長挨拶

日塔 寛昇

新年明けましておめでとうございます。正月をゆっくり過ごされた方が多いと思いますが、働いていたという方も多いのではないのでしょうか。私は当院整形外科に平成13年に赴任し、以来当科を支える各職場のスタッフと病院全体の絶大な支援、そして近隣医療機関からの信頼のおかげでここまでやってこれたものと大変感謝しております。また最新の手術用顕微鏡、脊椎内視鏡、関節鏡等を導入し、日進月歩の医療の変化に対応できるようにしています。

昨年4月から、前任の市川先生より病棟診療部長を引き継ぎました。整形外科の運営ばかりでなく、病院全体のことも考える立場になりましたが、昨年はなかなか思うようにいかず、診療が長引いて会議も時に出席できないこともあり、迷惑をかけていたと思います。

そのうえで私なりに今まで考えてきたことがあります。今はインターネット社会になり、遠くの医療機関にかかる方が大変多くなっている時代です。もちろん疾患によっては遠くに手術を受けに行く価値のあるものもあります。それに対して当院は地元の患者さんや地元の医師たちから信頼されて、任されるということをお大事にして運営してきました。そしてこれからもそうあるべきと思います。地元といっても戸塚区・泉区だけで40万人超、更に栄区、瀬谷区、藤沢、鎌倉、大和まで入れれば100万人以上住んでいます。手術は行って退院後はさよならではなく、その後の経過が大事です。患者さんの生活の質のためにも大事ですが、私たちも手術成績を評価する必要があります。長期的な視点で成績を向上させようとするれば、安全確実な手術法を選ぶようになり、無理な手術はしなくなります。自分の手術の長期成績を見ない医師は難しい大きい手術に手を出しがちだと思います。私は当院に来て約18年、その日の整形外科外来患者の画像を含めた見直しのカンファランスを夕方に行って一緒に治療方針を討議し、術後経過を整形外科医の間で共有しております。

今年1年も地元の患者さんや近隣医療機関から選ばれる医療機関になれるよう病院スタッフみんなで頑張っていきましょう。

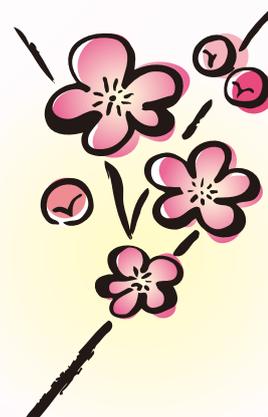
事務部企画課長挨拶

白鳥 豊

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、新春を晴々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。私も昨年4月に着任し、無事に新しい年を迎えることができました。

昨年の正月は、実家の田んぼで6歳の娘と凧揚げをしました。彼女にディズニーのプリンセス絵柄の凧を持たせ、20メートルほど凧糸を延ばし勢いよく走り出したところ、刈り取られた稲の株元につまづき、湿った田んぼの土に足を滑らせ見事にヘッドスライディング…。本当はカッコよく、空高く上がっていく凧を見せたかったのですが、残念なことにすっ転んだ様子が印象に残ったらしく、思い出しては話のネタにされてます（笑）

今年には新元号の始まりの年ですので、心新たに一步先の医療サービスを見据え、患者さんやそのご家族の方及び地域住民の方々のご協力を得て、更なるサービスの向上に努力していきたいと思っています。この新しい年が皆様にとって、より佳き年になるよう心より祈念いたします。



幹部年頭挨拶

外来診療部長挨拶

兼 地域医療連携部長 高橋 竜哉

当院への紹介方法についてお話させていただきます。

これからお話する内容は、2018年11月29日に当院で開催された病病・病診連携の集いで講演したものを要約したものです。

厚生労働省の意向により患者の大病院志向を是正すべく、紹介状なしで大病院を受診した患者から定額負担金、いわゆる選定療養費を徴収することになりました。選定療養費とは差額ベッドなど病院ごと自由に金額設定できる保険外診療の一つで、当院では初診と時間外は税込8,640円、再診5,400円です。初診とは科ごとに設定され受診歴があっても1ヶ月以上受診されなかった場合も含まれます。受診後そのまま入院となった際には徴収しませんが、たとえ救急車で来院しても入院とらなかった場合や通院中の疾患とは無関係の症状のために他科に併診(コンサルト)した場合などは徴収します。

また平成30年4月から完全紹介制に移行しました。原則として紹介状を持たない患者は近くのかかりつけ医へ行き紹介状をもらってから来院するよう促しています。ただし紹介状を持っていても受付時刻は8時30分～10時30分です。この時間帯以外は紹介状の有無に関わらず患者の状態をトリアージして緊急性を判断します。

救急科は救急隊ホットライン(Eライン)で来院した患者と意識障害やショック状態など重篤な患者を主な対象としています。自力で来院した患者や事前連絡の後に救急車で来院した患者は今の所対象外です。

問い合わせ窓口について説明します。時間内(平日8:30～17:15)は内容によって4カ所で受けています。予約(FAXも含む)は予約センター事務(電話 853-8362、FAX 853-8363)、急患は地域医療連携室(電話853-8355)事務、転院・入院の依頼は地域医療連携室看護師長、医師への問い合わせは電話交換です。時間外(平日17:15～8:30と休日)は事務当直が受けます。時間外診療体制は、第一当直(脳神経外科/神経内科)、第二当直(循環器内科/心臓血管外科)、第三当直(外科/整形外科/呼吸器外科/泌尿器科/形成外科)、第四当直(消化器内科/呼吸器内科/糖尿病内分泌内科/腎臓内科/リウマチ膠原病内科)、救急科、ICU、小児科、NICU、産科、麻酔科というラインナップになっています。

最後に紹介方法をまとめます。とにかく紹介状をお願いします。受付時間(8:30～10:30)を案内してください。10:30～17:15の受診になる場合には連携室に連絡をお願いします。

副看護部長挨拶

鈴木 美和

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

横浜医療センター副看護部長の鈴木美和です。着任して4年目になります。2018年は、箱根駅伝で青山学院が4連覇、平昌五輪で日本が冬季最多13メダル獲得、サッカーW杯ロシア大会で日本は16強、テニス・大坂なおみが全米オープン優勝など2020年の東京オリンピックに期待が高まるうれしいニュースがありました。その反面、7月西日本豪雨災害、9月今世紀最強台風21号、北海道胆振地方中東部地震など自然災害による悲しいニュースもありました。どのニュースも「平成最後の〇〇」と表現していたような気がします。2019年は新年号となり、オリンピックムードで健康の意識が高まる半面、益々後期高齢化社会となるため、当院は、地域の中核で災害拠点病院として、地域の皆様のための病院運営ができるように、2019年亥年にちなんで成果を出すべく猪突猛進してまいりますので、よろしくご支援ください。

病診連携施設紹介

横浜市泉区医師会会長ご挨拶

新年あけましておめでとうございます。平成31年、平成最後の新年ですが、この特別な年が皆様にとりまして、素晴らしい1年でありますことを祈念いたします。

私たち泉区の医師会は昭和62年3月に戸塚区医師会から分区して32年になります。泉区医師会は、現在127名の会員を擁しています。泉区医師会は横浜市医師会、神奈川県医師会、日本医師会との連携に基づき、地域医療の質の向上、医療体制の充実を図ることによって、泉区民の健康増進に寄与することを目的としています。

泉区医師会は休日急患診療所、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業の運営を行っており、平成28年1月からは在宅医療相談室を設置して医療、介護、福祉分野を泉区行政と連携をとりながら総合的に事業を行っています。

泉区医師会、医師会員の活動内容は乳幼児健診、特定健診、一般健診、各種がん検診の実施、小中学校の校医、幼稚園医、保育園医、そして介護保険審査、地域ケアプラザへの協力など多岐にわたっております。また泉区民に向けた各種健康相談、講演会の開催なども行っています。

泉区内の医療体制では各医療機関の通常診療のほか、休日診療所への出動、24時間365日無休の南西部夜間急病センターへの出動をしています。そして診療所と病院の関係（病診連携）、診療所同士の相互関係（診診連携）の重要性に基づき協力体制を築いて、更に救急体制の充実に向けて努力しています。

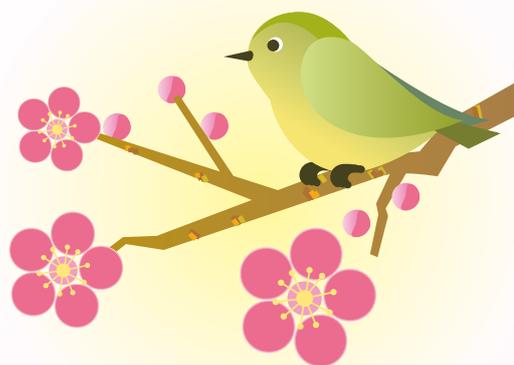
また災害時に向けた医療体制づくりを行政と連携しながら行っています。

2020年の春に医師会館、休日診療所、南西部夜間急病セン

ターは泉区役所の隣接地に移転、新築いたします。この区役所との隣接性、交通の利便性からも医療連携、災害対策に対して、大変効率よく泉区民、市民に対して安心安全の医療を提供できると考えています。これから環状4号線で一直線に繋がる横浜医療センターは私たち泉区医師会の医療機関にとって今までも、これからも最も頼りにさせていただいている病院です。これからもより親密に顔と顔の関係づくりを通して協力し合う関係性を展開できるようによろしく願いいたします。



医療法人
小林内科クリニック
院長 小林英雄



お知らせコーナー

30年度国立病院機構QC活動報告で関東信越グループ優秀賞を頂きました！

「いいね！（承認・ほめ・感謝）で職員のモチベーションを向上しよう ～報奨制度「YOKOHAMAいいね！制度」の取り組み～

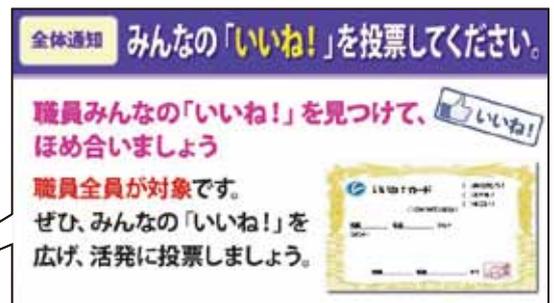
当院では「ほめる」機会を作り、職員のモチベーションを上げる目的で平成28年度より「YOKOHAMAいいね！制度」を実施しています。

制度の概要は、職員はほめたいことがあれば「いいね！カード」（以下、カード）にほめる人の所属と名前、ほめる種類(すごい、ありがとう、ステキ)とほめる内容等を記入し、各職場に設置している投票箱(いいね！箱)に投函するもので、カードは期間を定め回収後集計し、表彰の選考材料とします。表彰者は当院独自の基準で選考し、本年度は5名に、昨年12月の管理診療会議（管理職が集う会議）で平原院長より表彰状を授与しました。（表紙写真）

日常の何気ない感謝の気持ち、「ほめる風土」が根付くまで継続させ、ほめられる人だけでなく、表彰されるのを見た職員のモチベーションが上がる、さらにより多くの職員が参加することで、さらなる効果が期待できると考えています。

今年度受表彰者

牧野看護師、高橋臨床検査技師、熊坂医療コンシェルジュ、藤田経営企画室長、加藤薬剤助手（表紙写真左側より）



★シンボルツリーライトアップ★



12月7日16時30分平原院長の合図で点灯、2月末までライトアップしています。



行事紹介

糖尿病フェア

糖尿病チームケアユニットメンバー
西5階病棟副看護師長 佐藤 広太



11月14日は世界保健機関が定めた世界糖尿病デーで、当日は世界各地でブルーライトアップを灯す行事が行われています。神奈川県でも横浜マリインタワーや江の島シーキャンドル、大船観音寺など各地でライトアップがされました。

それに先立って、11月13日に当院では外来フロアで糖尿病フェアを開催しました。糖尿病フェアは糖尿病治療と生活習慣の見直しの啓蒙を目的に行っており、今回で16回目の開催となります。当院糖尿病チームケアユニットのメンバーが各職種ごとにブースを開設し、様々な催しを行いました。

糖尿病内分泌内科医師による血圧測定、糖尿病看護認定看護師などによる体脂肪測定と生活相談、栄養士による食事相談・サンプル食品の紹介、臨床検査技師による血糖測定、薬剤師によるお薬相談、理学療法士による握力測定などを行いました。スタンプラリー形式で行い、すべてのブースを体験した参加者にはささやかなプレゼントを配布しました。

糖尿病は進行すると網膜症や腎症、神経障害などの合併症のほか、心筋梗塞や脳梗塞など多くの疾患の発症リスクとなります。糖尿病は生活習慣病とも言われており、普段の食生活の乱れや運動不足などがきっかけとなり発症することがあります。しかしながら、実は体質や遺伝的要因による影響も大きく誰もが発症する可能性がある疾患です。そのため、糖尿病に対する偏見をなくし正しく理解していく必要があります。

糖尿病の治療は食事療法や運動療法が基本となります。そのため普段の生活の中で患者さん自身が行っていくこととなります。しかし、私たちは毎日同じような単一的な生活を送ってはいません。近所づきあいや友達との会食、様々なライフイベントを経験しながら生活をしています。そのため、一方的な食事制限を達成することは極めて困難であると言えます。

当院では糖尿病看護ケア外来や糖尿病地域連携パス外来を開設しており、患者さん一人一人に合った生活相談、療養支援を行っています。

年末年始は特に食生活が乱れやすくなりますので普段の生活を見直し健康寿命を延ばしていきましょう。



平成30年10月26日（金）、27日（土）に第54回横浜医療センター附属横浜看護学校楓葉祭を開催いたしました。第54回楓葉祭のテーマは、日ごろからお世話になっている地域、患者さん、病院スタッフの皆様へ感謝の気持ちを伝えたいことと、学生全員が協力して取り組むことで、楓葉祭が皆様と学生を結ぶ場となることを願い“結（むすぶ）～心と力をひとつに～”といたしました。

26日は、1～3年生の代表の看護の体験をもとにしたシンポジウムを実施しました。シンポジストの発表を通して、看護観について他者の視点を知り、自分の看護観について考える機会となりました。

27日は、一般公開を行い、来校していただいた方と交流が深められるよう、模擬店や学習展示、パフォーマンスを行いました。今年、特に盛り上がったのがパフォーマンスです。ダンスや歌など、早い時期から練習を重ね、ステージを盛り上げてくれました。

楓葉祭の準備は4月から始めていました。模擬店やパフォーマンス各リーダーと共に、指示を出す大変さや大勢の人をまとめる難しさ、他部署との連携の大変さを学ぶことができました。今回の学びは、今後の実習に活かしていきたいと考えております。



クリスマスコンサート

クリスマス委員会委員長 2年生 長田 汐莉



平成30年12月14日(金)横浜医療センターで、附属看護学校の学生によるクリスマスコンサートを実施しました。このクリスマスコンサートの実施目的は、実習でお世話になっている施設、実習に協力していただき受け持たせてくださる患者様に感謝の気持ちを伝えること、患者様が病棟で過ごされる中でクリスマスの雰囲気味わってもらうことです。当日は、学生が1枚1枚心を込めて作り上げたクリスマスカードをお渡ししたり、クリスマスソングを歌ったりして、患者様に喜んでいただくことができました。



全学生がこの取り組みに参加することで、協力性や学年間の交流も深めることができました。この経験を今後の学校生活や実習での学びに活かし、専門職に携わるための能力を身につけて行きたいと思います。

	診療科	月	火	水	木	金
外来受付 A	小児科	鈴木 陽一	福山 綾子	小林 慈典	鈴木 陽一	塩谷 裕美
		小形 亜也子	鈴木 健	大山 里恵	矢竹 暖子	矢内 貴憲
		小林 孝輔	中永 思蘭	宮田 直	藤井 まどか	長井 真理
	心臓血管外科	益子原 幸宏	休診日(手術日)	交代医師	休診日(手術日)	久米 悠太
	形成外科	休診日	村下 一晃	休診日(手術日)	村下 一晃	村下 一晃
	整形外科	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	渡邊 竜樹	日塔 寛昇	佐藤 雅経
		久保田 聡	小林 秀郎	小林 秀郎	佐藤 雅経	久保田 聡
堀 莉彩		日野 勝利	外澤 正一	土肥 健人	土肥 健人	
外澤 正一				堀 莉彩		
外来受付 B	総合内科	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師	交代医師
	糖尿病内分泌内科	小西 裕美	交代医師	堤 優 宇治原 誠	大久保 和哉	小松 裕美子
	神経内科	浅野 敬一郎	土橋 裕一	高橋 竜哉	渡辺 大祐	上村 直哉
	腎臓内科	松下 啓	前田 晃延	松下 啓	小宮 麻里子	休診日
	呼吸器内科	柴田 祐司	休診日	池田 秀平	休診日	榎原 基史
	消化器内科	野登 はるか (第1・3・5曜日)	内山 崇 (第1・3・5曜日)	田邊 浩紹 (第1・3・5曜日)	松島 昭三	山田 英司 (第1・3・5曜日)
		野中 敬 (第2・4曜日)	宮澤 志朗 (第2・4曜日)	小松 達司 (第2・4曜日)		鈴木 大輔 (第2・4曜日)
	循環器内科	岩出 和徳	森 文章	岩出 和徳	岩出 和徳	森 文章
	膠原病・リウマチ内科	井畑 淳	渡邊 俊幸	井畑 淳	井畑 淳	井畑 淳
	外科・消化器外科	清水 哲也	関戸 仁	小暮 悠	関戸 仁	休診日 (手術日)
			太田 郁子 (乳腺外科)	交替医師		
	呼吸器外科	休診日	野間 大督	休診日	渡部 克也	交代医師
脳神経外科	休診日 (手術日)	岡田 富 (第1・3・5曜日)	瓜生 康浩 (第1・3・5曜日)	休診日 (手術日)	宮原 宏輔 (第2・4曜日)	
		宮原 宏輔 (第2・4曜日)	谷野 慎 (第2・4曜日)		藤津 和彦	
緩和ケア内科(ペイン・緩和)	小川 賢一	小川 賢一	休診日	小川 賢一	小川 賢一	
外来受付 C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	小野瀬 好英	佐々木 祐幸	小野瀬 好英	交代医師
	眼科	木村 正彦	犬伏 ルル	岡部 智子	木村 正彦	山内 悠也
		毛塚 由紀子	岡部 智子	山内 悠也	犬伏 ルル	毛塚 由紀子
	泌尿器科	井上 雅弘	平井 耕太郎	休診日 (手術日)	平井 耕太郎	井上 雅弘
		石川 達郎	米山 脩子		米山 脩子	石川 達郎
	皮膚科	上田 喬士	上田 喬士	休診日 (手術日)	上田 喬士	上田 喬士
桂 友理		桂 友理	桂 友理		桂 友理	
精神科	休診日	休診日	交代医師	交代医師	交代医師	
産婦人科	婦人科	向田 一憲	奥田 美加	窪田 興志	乗杉 輝彦	鈴木 理絵
		楚南 侑子	高山 智子	上西園 幸子	平原 裕也	下向 麻由
	産科	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)	交代医師 (妊婦健診)
歯科口腔外科	休診日	根岸 明秀 吉井 悠	休診日 (手術日)	根岸 明秀 吉井 悠	休診日	
専門外来(予約制)	神経内科		頭痛外来(第2・4曜日) 物忘れ外来			
	膠原病・リウマチ内科			関節超音波		
	呼吸器内科					アスベスト外来 (第1曜日)
	脳神経外科			脳神経血管内治療外来 (畑岡 峻介)		
	放射線科	杉山 正人	杉山 正人	杉山 正人	幡多 政治	杉山 正人
	精神科	物忘れ外来				

初診受付：(平日) 8:30~10:30

休診日：土曜日・日曜日・祝日、12月29日~1月3日

※急患は随時受け付けております。来院前に病院にご連絡下さい。(代表)045-851-2621

※ 青色の枠の担当医は、完全予約制となります。

◆編集後記◆

毎年新年号では院長の挨拶を掲載しておりましたが、今年はホームページに掲載しておりますので、そちらもご覧頂けると幸いです。

寒い日が続いておりますが、インフルエンザの流行する時期となりました。普段から手洗い、うがいは欠かさず、栄養と睡眠を取って抵抗力を高め、十分に健康管理を行いましょう。

(M・M)